

## Business Ticker

REAL ESTATE

### トランプ絶賛 “トロントは絶好調だ！”

「金融引き締めで不動産資金調達は、より高額になってきているが、経済力のある開発者にとっては絶好の機会を生み出している。」と、トランプ財団の開発及び企業買収部門長イヴァンカ・トランプが、トロント市内で行われたインタビューでこう述べた。

「1年前なら、融資を得るために完成予想図を発注し、建物の所有を主張し、充分な事前販売もできた素人まがいの開発業者でも通用していましたが、今では素人開発業志望者の生き残りが困難になっています。」と、世界的不動産王ドナルド・トランプの26歳の愛娘であるトランプ女史はこう語った。トランプ女史は、ベイ通りとアデレイド通りが交差する角に建設中の、60階建てトランプ・インターナショナル・ホテル&タワー進捗状況確認のためトロントに滞在している。

この4億ドル(約420億円)のプロジェクトは、トロントに拠点を置くタロン・インターナショナル・デベロップメント・インクが開発し、高級ホテルとコンドミニアムの複合ビルとなる予定である。

現在トロント開発における住宅価格は、1スクエアフィート(約0.09㎡)当たり1,550ドル(約12万円)をマークしている。この開発事業がトロントの金融中心街から1ブロック北にある絶好の立地により、企業や行政機関にとって魅力的なものとなるという会社の見解を、顧客からの好反応が裏付けていると、女史は述べている。

現在トロント開発における住宅価格は、1スクエアフィート(約0.09㎡)当たり1,550ドル(約12万円)をマークしている。この開発事業がトロントの金融中心街から1ブロック北にある絶好の立地により、企業や行政機関にとって魅力的なものとなるという会社の見解を、

顧客からの好反応が裏付けていると、女史は述べている。

「ここでさらに開発を進めていきたいと思っています。私たちはトロントのダウンタウンは急成長の真ただ中にあると確信しています。特にホテルに関しては、現在建設中の商業開発のフィーダー的役割を果たしています。」と語った。

このトロントプロジェクトは、トランプ女史が関与する、米国、ドバイ、スコットランドなどで進められている33に上る開発事業の一つである。

これまでに、建物の85%にあたるホテルの客室用スイート261室と117戸の住宅用

ユニットのうち61戸が販売済みになっている。タワーの最高経営責任者ヴァル・レヴィタンによると、残りの住戸は次の3年で次々販売していくとのことである。地域別最大顧客層は、カナダ人と米国人がそれぞれ25%を占めている。また、企業が約20%を占めている。最低価格は525スクエアフィート(約49㎡)のホテルコンドミニウムで価格は約90万ドル(約9450万円)。住宅用ユニットは、1300スクエアフィート(約120㎡)からで価格は約200万ドル(約2億1000万円)。

